



香川県ふるさと・水と土 保全対策推進委員会



令和7年9月1日
農村整備課



1



ふるさと・水と土保全対策事業

《目的》

- 中山間・棚田地域の農地や農業用施設の保全・利活用
- 中山間・棚田地域の有する多面的機能の発揮と地域住民活動の活性化
- 都市住民も交えた継続的な共同活動の推進
- 中山間地域の農業・農村の活性化

《構成》

- I.ふるさと・水と土基金
- II.棚田地域・水と土基金
- III.その他関連事業



2



ふるさと・水と土保全対策事業

1 令和6年度事業報告

3



ふるさと・水と土保全対策事業

I .ふるさと・水と土基金

- (1) 中山間地域資源保全対策調査事業 (実績1,095千円)
坂出市府中町府中地区(R5～R7)
- (2) 研修事業 (実績 73千円)
全国研修会、県内研修会
- (3) かがわの農村・ふるさと景観写真コンテスト (実績1,433千円)
247点の応募、 27点の入賞作品
- (4) ふるさと探検隊 (実績 697千円)
都市部の小学生を対象に土地改良施設の重要性を学習し、理解を深める。
- (5) ふるさと水と土指導員活動 (実績3,000千円)
10名の指導員活動を支援
- (6) 多面的機能支払交付金広域支援事業 (実績3,000千円)
3地区の活動組織を支援

4



I.ふるさと・水と土基金

(1) 中山間地域資源保全対策調査事業

坂出市 府中地区 (R5～7)

《R6実施内容》

〔2年目〕ワークショップ、意見交換会等を通じて地域活性化計画の策定

ア 意見交換会

- | | | |
|------------|---------------|----------------|
| ① アンケート報告会 | ① 2024年9月18日 | アンケート報告会・ヒアリング |
| ② 意見交換会 | ② 2024年10月15日 | 意見交換会 |
| | ③ 2024年11月19日 | 意見交換会 |
| | ④ 2024年11月24日 | 府中まつり |
| | ⑤ 2025年1月28日 | 意見交換会 |



イ 地域活性化計画(案)の作成

- ・ 課題解決に向けて必要なことの方角性を出す。
- ・ 農村の魅力を体験できるイベントなどのコンテンツをつくる。並行してそれを主催する組織づくりのため、いろんな既存組織の協力を得る。



5

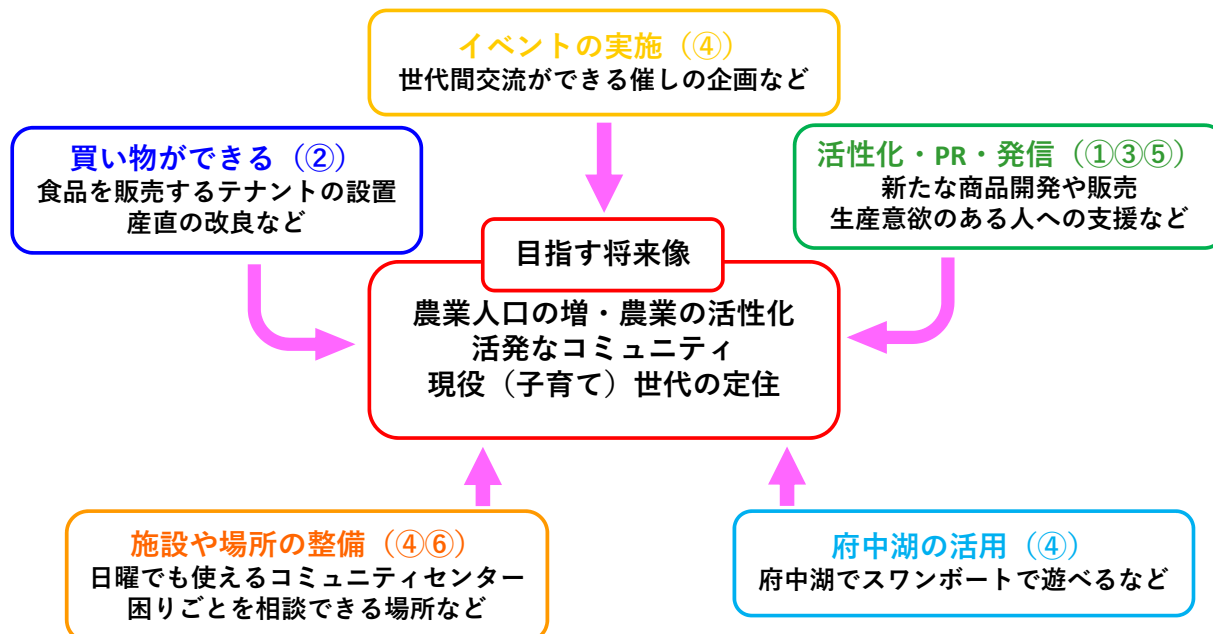


地元を感じる課題

- | | |
|-------------------|-----------------|
| ① 農作物の価格が上がらない | ④ コミュニティ活動が少ない |
| ② 買い物をする場所がない | ⑤ 移住情報などの発信が不十分 |
| ③ 女性が前に出にくい雰囲気がある | ⑥ 子育て世代が住むには大変 |

etc...

課題解決のためのアプローチイメージ



6



I.ふるさと・水と土基金

(2) 研修事業

県内意見交換会



《日程等・参加者》

日時: 令和7年2月6日
場所: 高松市仏生山交流センター
(高松市仏生山町)

参加者: 60名
(地元活動団体: 42名 香川大学5名 行政13名)

※上山地区とは

岡山県美作市にある棚田地域。2007年以降移住者が増加し、NPO法人英田上山棚田団が発足される。この法人を中心に棚田での活動が盛んに行われている。

《講演内容(上山地区事例発表)》

- 【きっかけ】… 1人の移住者が家族や仲間を連れてきた。
- 【活動内容】… 棚田地域保全、棚田米の加工品販売、レジャー設備の整備
- 【地元住民との関係構築】… 定期的な交流会の実施。
- 【今後の展開】… 移住者の増加促進、生計の確立

《結果》

特に岡山県の上山地区の事例発表について参加者から棚田保全や加工品販売などの活動内容や、呼び込みの仕方が参考になったと、非常に好評であった。

7



I.ふるさと・水と土基金

(3) かがわの農村・ふるさと景観写真コンテスト

《目的》

- ・農村の美しい自然や文化の再発見
- ・中山間地域が有する多面的機能のPR
- ・農村の現状、保全活動の重要性の再認識

《概要》

応募期間: R6.4.1~R6.11.30
応募者数: 89 応募作品数: 247点
入賞作品: 27点



応募数 年度別実績

年度	R2	R3	R4	R5	R6
応募者	108(4)	138(1)	114(5)	131(6)	89(7)
応募作品	303	358	293	352	247

()は県外



I.ふるさと・水と土基金

《活用例》

①カレンダー作成

写真コンテスト入賞作品の中からピックアップしてカレンダーを作成。
県内の小学校、官公庁などに配布
362箇所、6700枚

コンテストの入賞作品を活用



県の特産品
を紹介

月ごとの行事紹介
保全活動団体及びその
活動をPR



②入賞作品展

3箇所にて実施

その他、広報資料、配布資料など
5件のデータ提供実績



県庁ギャラリー



満濃池ゆる抜き



銀行の大阪支店



I.ふるさと・水と土基金

(4) ふるさと探検隊

《目的》

都市部の小学生を対象に土地改良施設の
重要性を学習し、理解を深めること。

《開催日》

令和6年9月29日(日)

《参加者》

高松市内 49名(小学生25名・保護者24名)

丸亀・坂出市・宇多津町内 26名(小学生14名・保護者12名)

参加者数 年度別実績

年度	30	R2～R3	R4	R5	R6
参加者数	61	中止	44	63	75
募集地域	高松・丸亀・坂出	中止	高松・丸亀・坂出	高松・丸亀・坂出・ 宇多津	高松・丸亀・坂出・ 宇多津



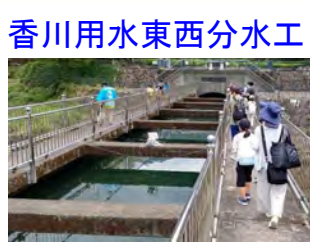
I.ふるさと・水と土基金

《探検場所》

満濃池 → 香川用水記念公園 → 香川用水東西分水工 → 豊稔池 → 五郷水車



満濃池



香川用水東西分水工



豊稔池



五郷水車

ピザ作り体験

《アンケート結果》

- ・ 実際に見て学べてよかった。
 - ・ 地元を盛り上げようとする熱い人たちがいることを知った。
 - ・ 自分にできることはないか考えるきっかけになった。
 - ・ 子供と農業に関するイベントに積極的に参加したい。
- ・・・etc.

⇒地域の共同活動への意識醸成へ

11



I.ふるさと・水と土基金

(5) ふるさと水と土指導員活動

《内容》

地域住民活動の活性化を推進するため、「ふるさと水と土指導員」の地域
保全・活性化活動等にかかる経費を支援。

《実績》

地区名	指導員名	活動日数(日)	年間延べ参加人数(人)	備考
五郷	藤岡	98	1,029	五郷の日
手島	尾崎	12	60	手島PR動画の製作
堂谷東	谷岡	7	493	桜まつり
屋形崎	笠井	8	102	杏、レモンの栽培、収穫体験
島が峰	高尾	89	1,381	そばの花見会
伊喜末	前田	26	693	陽当の里産直市
上西	大西	44	626	そば収穫祭、まんぶく会
積	山野	27	70	アボカド等栽培、マルシェへの出店
庵治	中西	18	142	体験農園の整備、小学校との連携
水主	間嶋	42	944	収穫祭、大内小学校との食育学習
合計		371	5,540	

《各地区の将来像と課題》

別紙参照

12



I. ふるさと・水と土基金

(6) 多面的機能支払交付金広域支援

《目的》

多面的機能支払交付金事業にて広域化・合併に伴い必要となる経費を支援し、**既存活動組織の広域化を推進**する。

《内容》

多面的機能支払交付金の活動組織に対して、**広域化・合併に伴い必要となる需用費や賃金などの経費について助成**。

《補助率等》

上限1,000千円／年 最大3年間



《令和6年度実施地区》

たからだの里保全会(三豊市)	・・・12組織(R4～R6)
琴平町環境保全の会(琴平町)	・・・5組織(R6～R8)
多度津町資源保全会(多度津町)	・・・8組織(R6～R8)

13



II. 棚田地域・水と土基金

(7) 広報活動事業 (実績**3,790**千円)

① 季刊誌の配布

全土連発行 新・田舎人 年4回 計340冊

② 棚田カードの発行

さぬきの棚田20選各地区について作成済。令和6年度は増刷。

③ 棚田PR名刺

県職員向けにPR名刺を5地区作成。

④ 棚田ライトアップ

保全活動の支援や情報発信を行っており、その一環として実施。

⑤ 棚田PR動画制作

各方面へのPRで広報用資料等に活用

14



Ⅱ.棚田地域・水と土基金

(7) 広報活動事業

《②棚田カード》



棚田地域	R5累計	R6実績	R7要望	R7累計	棚田地域	R5累計	R6実績	R7要望	R7累計
中山千枚田	2,000			2,000	森行の棚田	300	200		500
唐櫃の棚田	2,000	100	3,000	5,100	豊田の棚田	300	200		500
島が峰の段畑	1,500		200	1,700	笠松の棚田	300		500	800
五名の棚田	500		500	1,000	肥土山の棚田	300	500	3,000	3,800
水主・原の棚田	500		500	1,000	堂谷東の棚田	300		200	500
小蓑の棚田	500	200	100	800	四歩市の棚田	300		200	500
伊喜末の棚田	1,000	100	3,000	4,100	佐文の棚田	300		400	700
屋形崎の段畑	1,000	100	3,000	4,100	平山の棚田	300		200	500
五郷の棚田	1,500	1,500	1,000	4,000	上種子の棚田	300		200	500
葛谷の棚田	300	100		400	積の棚田	300			300
20地区合計	13,800	3,000	16,000	2,000					

15



Ⅱ.棚田地域・水と土基金

(7) 広報活動事業

《③棚田PR名刺作成》

R7.7月末時点の配布状況

棚田地域	使用シート数
中山千枚田	48
唐櫃の棚田	48
小蓑の棚田	59
五郷の棚田	178
森行の棚田	48

※1シート名刺10枚分 各地区200シート作成

今後原稿を提供し、多くの方が名刺を作成され、PRいただけるよう検討



中山千枚田
(小豆島町)



唐櫃の棚田
(土庄町)



小蓑の棚田
(三木町)



五郷の棚田
(観音寺市)



森行の棚田
(さぬき市)

16



Ⅱ. 棚田地域・水と土基金

(7) 広報活動事業

《④棚田ライトアップ》

〔目的〕

棚田の保全や棚田を核とした地域振興を推進するため、令和3年度に「さぬきの棚田20選」を選定して、保全活動の支援や情報発信を行っており、その一環として実施。

〔日程等〕

日時: 令和6年11月23日～12月1日
場所: 土庄町豊島唐櫃 唐櫃の棚田

〔実績〕

	11/23	11/24	11/25	11/26	11/27	11/28	11/29	11/30	12/1	合計
来場者数	128	17	15	1	6	3	33	14	24	241

〔総評〕

9日間で200人超が来場し、また、地元住民にも大変喜ばれたが、交通の便に課題があり、R5に比べて少なくなったと思われる。



17



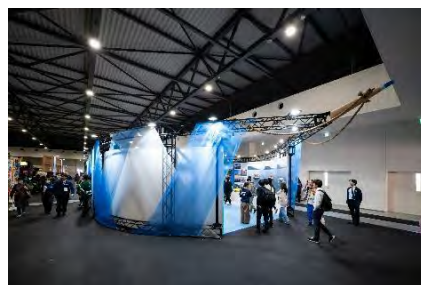
Ⅱ. 棚田地域・水と土基金

(7) 広報活動事業

《⑤棚田PR動画制作》

〔目的〕

さぬきの棚田20選における棚田振興事業の一環として、棚田のPR動画を作成し、各方面へのPRで利用する広報用資料等に活用する。



大阪・関西万博の香川県ブースでも放映され、PRできた。

18



Ⅱ. 棚田地域・水と土基金

(8) 保全活動支援事業 (実績4,600千円)

住民組織が行う棚田地域等の保全活動や地域活性化活動に要した経費等の助成。

活動地区5地区

- ▶ 高松市 音川・炭谷地区(R5～)
- ▶ 東かがわ市 笠松地区 (R5～)
- ▶ 三木町 井上北部地区 (R5～)
- ▶ 三木町 朝倉西地区 (R6～)
- ▶ 綾川町 綾上地区 (R3～)

《実績》

地区名	活動回数 (回)	備考
音川・炭谷	43	ビオトープ整備、収穫体験
笠松	18	水稲、ソバによる棚田保全
井上北部	21	コスモスによる棚田保全
朝倉西	33	香川本鷹等の栽培
綾上	15	体験イベントの実施
合計	130	

《各地区の将来像と課題》

別紙参照

19



ふるさと・水と土保全対策事業

Ⅲ. その他関連事業

(実績11,966千円)

・中山間地域等集落機能強化事業

(農村整備課)

中山間地域等直接支払制度協定等を対象として、集落機能の強化を図るために新たな人材確保等のための活動を支援

R6実績 2地区 活動に必要な機械購入を支援

・農地維持管理省力化事業

(農村整備課)

農地の維持管理軽減のために、法面のカバープランツや防草シート等の整備を支援

R6実績 7地区 防草シート等の設置を支援

・かがわの農泊推進事業

(農村整備課)

農泊推進のため必要な研修や企画などに要する費用を支援

R6実績 GT推進、先進地視察、実施地区の活動費用を支援

・地域特用作物等産地支援事業

(農業生産流通課)

中山間地域等で栽培される薬用作物などについて、省力化栽培技術や生産体制の整備など産地の取組を支援

R6実績 1地区 活動に必要な肥料等を支援

・みんなで守る地域農業整備事業

(農業経営課)

構成員の若返りに取り組む組織に対して、農業用機械・器具等の整備を支援

R6実績 5地区 棚田地域で活動に必要な機械購入を支援

・広報事業

(土地改良課)

県民に広く農業農村整備事業をPRするためにパンフレットを作成し配布

R6実績 1,000部配布

20



情報発信の充実

▶Facebook『かがわの農村』

▶ R7年8月26日現在 フォロワー数718人
R6アップ数 42件



▶Instagram『かがわ農カメ』

▶ R7年8月26日現在 フォロワー数652人
R6アップ数 54件



21



ふるさと・水と土保全対策事業

2 令和7年度事業計画



ふるさと・水と土保全対策事業

I .ふるさと・水と土基金 II .棚田地域水と土基金

	R7当初	R6当初
(1) 中山間地域資源保全対策調査事業	1,100千円	(1,100千円)
(2) 研修事業	272千円	(1,032千円)
(3) かがわの農村・ふるさと景観写真コンテスト	1,796千円	(1,682千円)
(4) ふるさと探検隊	439千円	(552千円)
(5) ふるさと水と土指導員活動	3,000千円	(3,000千円)
(6) 多面的機能支払交付金広域支援事業	3,700千円	(3,000千円)
(7) 保全ネットワーク推進事業(旧広報活動事業)	1,443千円	(5,084千円)
(8) 保全活動支援事業	9,600千円	(5,200千円)

23



I .ふるさと・水と土基金

(1) 中山間地域資源保全対策調査事業

坂出市 府中地区(R5~7)

3年目は地域活性化計画(案)を基に意見交換会を交え、地域の課題に対して取組みながら、地域活性化実行計画(案)の作成を行う。

(3) かがわの農村・ふるさと景観写真コンテスト

第25回の写真コンテストを実施。組写真賞、棚田夜景賞、創作アート賞を新設して応募者数の増加を図る。

(6) 多面的機能支払交付金広域支援事業

多度津町資源保全会(多度津町)

琴平町環境保全の会(琴平町)

松山地区保全活動組織(坂出市) の3地区に対して補助

24



Ⅱ. 棚田地域・水と土基金

(7) 保全ネットワーク推進事業

棚田地域企業マッチング

外部より棚田地域へ呼び込むためのしくみをつくる。
地域と企業・団体をマッチングさせ、持続的な保全活動への体制整備を図る。

(8) 保全活動支援事業

活動地区6地区(5地区→6地区 **新規:三木町乃生(のぶ)地区**)

[乃生地区について]

三木町朝倉の東部にあり、瀬戸内海を望むことができる風光明媚な地域。南隣にはグランピング施設もあり、連携して来客できるよう棚田保全、景観形成、体験農園整備など、棚田での活動に取り組む。

棚田ライトアップ

今回より地元を実施主体とし、県は支援するという体制。
実施に向けて現在調整中。

25



ふるさと・水と土保全対策事業 Ⅲ. その他関連事業

R7当初 **R6当初**
19,762千円 (**16,882千円**)

- | | |
|-----------------|-----------|
| ・中山間地域等集落機能強化事業 | (農村整備課) |
| ・農地維持管理省力化事業 | (農村整備課) |
| ・かがわの農泊推進事業 | (農村整備課) |
| ・地域特用作物等産地支援事業 | (農業生産流通課) |
| ・みんなで守る地域農業整備事業 | (農業経営課) |
| ・広報事業 | (土地改良課) |

26



ふるさと・水と土保全対策事業

3 ふるさと・水と土事業実施計画

27



事業実施の基本方針 (R2～R6)

現状と課題	本県の中山間地域においては、過疎化、高齢化等の著しい進行により地域の活力が低下しつつあり、将来にわたり農地や農業用施設の有する多面的機能が十分に発揮されるか危ぶまれている状況である。このため、中山間地域の活性化や多面的機能の良好な発揮を図ることが重要な課題となっている。
事業実施の基本方針	中山間地域において、農地や農業用施設の有する多面的機能の良好な発揮と中山間地域の活性化を図るため、中山間地域の農地の状況、地域資源、保全活動の現状を調査し、地域の魅力ある資源を十分発揮した活性化を推進する。また、都市住民に対して農地や農業用施設の持つ役割等について普及啓発活動を実施することで、都市住民との交流を促進する。
計画後の目指す姿	中山間地域における住民の保全活動に対する意識や理解度が高まり、各地域に即した地域活性化や保全活動が継続的に展開され、中山間地域の有する多面的機能が良好に発揮されることを目指す。また、中山間地域における農村の魅力や現状について都市住民からの理解が深まることにより、地域活動への理解や中山間地域と都市との住民交流を促進する。



事業計画に対する目標と実績

- 写真コンテスト応募枚数 R6 247/295 枚
平均 311/295 枚

→現役世代の応募が少ないので、引き続き対応。

- ふるさと探検隊応募者数 R6 144/135 人
平均 111/135 人

→全体としては達成できなかったなので、引き続き応募PRを推進。

- 地域活性化計画作成 全体 1/2 地区

→R7をもって府中での取り組みが完了予定。コロナ禍の影響で1地区の作成が遅れた。

- 指導員育成研修事業 R6 1 人
全体 6/10 人

→継承を念頭に地域活性化にさらに興味を持ってもらえるよう地元にPR。

29



事業計画に対する目標と実績

- 指導員 全体 7/5 人

→目標は達成。引き続き地域活性化に取り組む地域を支援。

- 棚田カード・ガイド 全体18/4 地区

→「さぬきの棚田20選」の全地区の作成が完了。

- 棚田地域等保全活動支援地区 R6 5/7 地区
平均 6.2/7 地区

→全体としての目標はわずかに届かなかった。推進の方針について今後検討。

30



事業評価(R2～R6)と対応

達成すべき目標	所見	改善方針
農地及び農業用施設の維持・保全・管理活動を通じた多面的機能の発揮	①農地および農業用施設の啓発に一定の成果。 ②他事業も活用しながら相乗効果を図る必要。 ③農業を環境施策と捉えることも必要。地域ブランディングの推進。	①②保全に伴う他事業との連携をより推進。 ③地元農産物のブランド化など、中山間農業の継続に向けた活動を促す。
中山間地域の地域住民活動による地域の維持・活性化の実現	①コロナ禍の影響もあって、地域の保全やコミュニティづくりについては十分な実績があげられなかった。 ②継続地区のフォローアップと、新規地区の伴走支援に努める必要。 ③段階的に地域活性化につなげていく施策を検討。(R2委員会) ④研修を受け入れられるぐらい地域をつくる。(R2委員会) ⑤地域の横展開やリーダー育成を考えるべき。(R2委員会)	①②連携を図り、活動内容の充実や支援要望の把握、一体的なPRに努める。 ③関係人口の把握に努める。支援要望と対応策(事業など)を段階毎に整理、ブラッシュアップ。 ④⑤県内での意見交換会を実施し、各地域の次のリーダーの参加を促す。
棚田の保全及び地域の振興	①棚田カードの作成は人気地区では増刷されており、良い傾向。 ②保全や活性化の実施が重要なため、その目標達成に向けて工夫を要する。	①随時要望を把握し、増刷を行う。 ②推進体制の整備、イベントのサポートなど、より地元に伴走する形の支援を充実させる。

※事業実施計画(R2～R6)より要約 31



今後5年間の事業実施の基本方針 (R7～R11)

現状と課題	本県の中山間地域においては、過疎化、高齢化等の著しい進行により地域の活力が低下しつつあり、将来にわたり農地や農業用施設の有する多面的機能が十分に発揮されるか危ぶまれている状況である。このため、中山間地域の活性化や多面的機能の良好な発揮を図ることが重要な課題となっている。
事業実施の基本方針	中山間地域において、農地や農業用施設の有する多面的機能の良好な発揮と中山間地域の活性化を図るため、中山間地域の農地の状況、地域資源、保全活動の現状を調査し、地域の魅力ある資源を十分発揮した活性化を推進する。また、都市住民に対して農地や農業用施設の持つ役割、中山間地域における農村の魅力や現状について啓発活動を実施することで理解の醸成につなげ、都市と農村の交流を促進する。
計画後の目指す姿	中山間地域における住民の保全活動に対する意識や理解度が高まり、各地域に即した地域活性化や保全活動が継続的に展開され、中山間地域の有する多面的機能が良好に発揮されることを目指す。

※事業実施計画(R7～R11)より抜粋 32



今後5年間の事業実施計画

●写真コンテスト

平均 **340** 枚/年

⇒応募枚数の増加により啓発を更に推進。

●ふるさと探検隊

平均 **125** 人/年

⇒応募者数の増加により啓発を更に推進。

●地域活性化計画作成

2 地区/ 5年間

⇒より魅力ある農村のモデル地区を目指す。

●指導員育成研修事業

1 回/年

⇒都市との交流を通じた持続可能な農村づくりに必要な方策を考える。

●指導員

8 人/年

⇒女性や現役世代の指導員を増やす。

●棚田カード・ガイド

6,000 枚/ 5年間

⇒全体的に増刷できるようPRを推進。

●棚田ライトアップ支援

1 地区/年

⇒支援をしつつ、地元主体での実施に移行。

●棚田地域企業マッチング事業

4 地区/ 5年間

⇒各管内で実施地区ができるよう推進。

●棚田地域等保全活動支援地区

3 地区/年

⇒地域伴走型での事業の推進。

33



ご清聴ありがとうございました。



島ヶ峰の段畑（まんのう町川東）

34